

平成16年度の活動方針

1. 基本方針

「新世紀戦略プログラム」については、本年度はその後半2年目に当たるため、今回プロジェクトのパッケージ化を実施し、プロジェクトの集中的、重点的取り組みを強化する。具体的には、本都市の産業機能の充実・都市活性化のための立地環境整備、3年目を迎える知的クラスター創生事業推進、情報ネットワーク推進、京阪奈新線開業関連等の交通基盤整備及びデジタル文化の継続的発信等を柱とするプロジェクトを着実に展開し、セカンド・ステージ・プランの具体化を積極的に推進する。

プロジェクトの取り組み一覧（平成15,16年度における活動事項の概要一覧）

平成15年度	
1.重点プロジェクト	(1)立地環境整備プロジェクト
	(2)情報ネットワーク推進プロジェクト
	(3)交通基盤整備プロジェクト
	(4)研究成果情報発信・交流プロジェクト
2.重点プロジェクトに呼応する国の支援事業等	(1)融合型公共交通システム「けいはんなITS研究開発事業」
	(2)知的クラスター創成事業
	(3)関西文化学術研究都市メディカルコンプレックス構築プロジェクト
3.分野別実現化プロジェクト	(1)文化分野 文化振興プロジェクト
	(2)学術研究分野 都市内大学等連携・交流モデルプロジェクト
	(3)産業創出分野 技術の産業化促進拠点形成プロジェクト
	(4)都市分野 パイロットモデル都市形成プロジェクト
	(5)情報分野 情報発信強化プロジェクト

平成16年度	
1) 技術の産業化・高度化拠点形成プロジェクト (パッケージ1)	(1)知的クラスター創成事業
	(2)立地環境整備
	(3)技術の産業化促進拠点形成
	(4)包括的窓口機能整備(けいはんなコネクト)
2) 都市の総合力強化・情報発信強化プロジェクト (パッケージ2)	(1)文化振興
	(2)都市内大学・立地機関連携交流、情報発信交流
	(3)地域共同利用ネットワーク運営、ITBL構想推進等
	(4)パイロットモデル都市形成
3) 交通基盤整備促進プロジェクト (パッケージ3)	(1)交通基盤整備促進プロジェクト
4) (仮称)メディカルコンプレックス形成プロジェクト (特定プロジェクト)	(1) (仮称)メディカルコンプレックス形成プロジェクト
5) 推進体制整備検討プロジェクト (パッケージ4)	(1) 推進体制整備検討プロジェクト

2. プロジェクトの取り組み

1) 技術の産業化・高度化拠点形成プロジェクト(パッケージ1)の取り組み

(1) 知的クラスター創成事業

中核事業につながる研究開発テーマの推進

- ・ ライフサイエンス、ネオカデン等ヒューマンエルキューブ領域 14 テーマを重点的に推進。目標は特許出願国内 20、海外 10、公的プロジェクト採択 4-5 件。

地域の主体性を活かした研究開発体制構築と新産業創出戦略との整合

- ・ 3 府県重点領域での共同体制確立等

イノベーション促進体制構築、研究成果の技術移転、大学発ベンチャー創出促進

- ・ 目標は技術移転、大学発ベンチャー計 10 件
- 「けいはんな新産業育成プロジェクト」の推進
- ・ 知的クラスター本部：フェイズ 1,2 を中心に促進支援。
- ・ けいはんな新産業育成プロジェクト：フェイズ 3(イノベーション)を主に支援。
- ・ 両者の連携と共に、「事業促進協議会(仮称)」が必要に応じて支援。

【参考：通算5年間の目標】

特許出願 148 件、技術移転 12 件以上、ベンチャー創出 25 件以上、事業化 12 件以上

(2) 立地環境整備

産業機能集積推進

- ・ 津田地区、精華西木津地区における「研究開発型産業施設」の開所・立地決定の取り組み進捗を受け、一層の立地環境整備に向けた取り組みを強化する。
- ・ ベンチャー企業の立地支援を含む「レンタルラボ入居機関等の支援機能の強化」や「誘致活動の展開」の各取り組みとの連携化を行う。

ベンチャービレッジ計画推進

- ・ 精華・西木津地区における「(仮称)ベンチャー・テクノエリア」のモデル的事業として計画中のベンチャービレッジ計画実施及び施策整備に向けて関係者協議を推進する。

施設利用転換・利用サイクル対策

(3) 技術の産業化促進拠点形成

生活支援型ロボット産業拠点の形成

産業集積地域との交流

東大阪市・八尾市等周辺地域との産学官交流会を引き続き実施。

テストイング・フィールド整備

その他

ベンチャー支援の展開や、公設試験研究機関との連携強化等による技術移転促進ネットワークの構築を引き続き目指す。

(4) 包括的窓口機能（けいはんなコネクト）

産業集積地域の企業ニーズを受け止め、学研都市に立地する大学、研究機関・研究者とのマッチングに係わる相談・仲介・コーディネートを行う包括的研究交流窓口機能「けいはんなコネクト」実現に向け、15年度の関係機関調査結果も踏まえ、(株)けいはんなの本来業務として行うべく、関係者の合意形成を図る。

2) 都市の総合力強化・情報発信機能強化プロジェクト（パッケージ2）の取り組み

(1) 文化振興

○新しいデジタル文化振興事業の実施

学研都市に相応しい新しい文化振興事業として、引き続きデジタル文化事業（アート&テクノロジー）「メディアフェスティバル 2004」を開催し、学研都市を代表する文化イベントとしての定着化を目指す。

地域文化活動促進方策実施

地域文化活動の活性化のため、関係機関と取り組む春・秋の文化イベント及びけいはんなプチコンサート等の自主イベントの継続・充実を図ると共に都市内文化施設、地域文化団体等への支援活動を一層推進する。

「国立国会図書館」「私のしごと館」活用事業

「国立国会図書館関西館」については、引き続き活用促進のための方策について、利用者の実態を踏まえ、活用促進・PRに取り組む。「私のしごと館」については、展示内容など事業が円滑に運営されるよう支援する。

地域の子ども達を対象とする文化学術研究成果を活用した文化・教育活動「けいはんな子どもサイエンススクール」「キッズ学研事業」等を支援。

(2) 都市内大学・立地機関連携・交流、情報発信交流

「市民大学講座」の実施

都市内大学の連携強化を図ることを目的に、引き続き学研都市6大学連携「市民公開講座」6講座をけいはんなプラザにおいて開催する。

TBI技術経営セミナーを開催

企業の技術系上級幹部を対象に全国に先駆けて開催してきた「TBI 技術経営セミナー」を、本年も同志社大学ビジネススクールと共同で7月に開催する。（講師：同大、東大、UCバークレー、ケンブリッジ）

「知の発信」公開講演会の実施

けいはんな学研都市発「知の発信」講演会を本年度も春・秋に実施。

サイエンスメイキーター制度調査の継続実施

15年度に引き続き、文部科学省科学振興調整費調査として学研エリア内6機関共同で実施。（関係機関：奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学自由電子レーザー施設、日本原子力研究所、ATR、けいはんな学術文化協会、学研推進機構）

「知的クラスター」の成果を踏まえた知の発信及び「けいはんな研究論文抄」掲載大きな成果をあげつつある「知的クラスター」事業の成果発表会(年4回)を活用した知の発信活動を強化する。内外の人々と交流するイベントも検討。「けいはんな研究論文抄」はシステムに改善を加えつつ、引き続き2003年度版のホームページ掲載、定着化を図る。

けいはんなメーリングリスト(情報発信強化)

都市内の研究者、住民間の迅速な情報流通と共有化に向け、「けいはんなメーリングリスト」の一層の普及を図る。また、海外からの視察に対応するため効果的なプレゼンテーションを行い、学研都市のPRを進める

(3)情報ネットワーク推進

地域共同利用ネットワークの強化

・地域共同利用ネットワーク組織によるIT意見交換会を実施すると共に、京都デジタル疎水ネットワーク活用への提案・要望等を行う。また学研都市ネットワーク環境の整備、支援及び検討を行う。

日本原子力研究所ITBL構想の推進支援

・スーパーコンピューター資源の民間企業利用、特にベンチャー企業向けの利用促進へのサポートを行うと共にITBL構想を推進支援。

NICT支援

- ・産官学連携により、「(独)情報通信研究機構(NICT)けいはんなオープンラボ`研究所」の運営支援を事務局メンバーとして取り組む。

(6)パイロットモデル都市形成

環境資産を活かした新しいクラスター整備の促進

南田辺北地区において環境資産を活かしたクラスター整備を検討する。

「けいはんな・フィールドミュージアム構想」への取り組み継続

市民参加と関係8市町共同の地域イベント「けいはんな・フィールドミュージアム・ウォーク」を継続実施するとともに、市民参加と地域づくりを担う可能性のあるNPO等市民セクターの状況把握に取り組む。

単位行政及び地域住民・市民との連携化

その他(多様性と活気に満ち、かつ風格のあるまちなみ景観)

主要駅周辺部、シンボリック道路沿道において、インフラ整備と合せた沿道店舗、ベンチャービルを含む多様でかつ風格あるまちなみ形成を推進。

3) 交通基盤整備促進プロジェクト(パッケージ3)の取り組み

(1) 交通基盤整備促進プロジェクト

京阪奈新線及び駅前・駅舎関連

- ・ 京阪奈新線関連：新設3駅の駅前広場、アクセス道路整備促進
- ・ 近鉄三山木高架：平成16年7月北行き高架切替え、平成17年度高架工事完成予定を着実に推進。
- ・ 祝園駅西区画整理事業：平成16年度に駅前広場を含め事業完了予定。
- ・ 木津駅前・駅舎：平成16年度駅舎設計予定。木津駅前東線・木津駅東口駅前広場は平成16年度工事着手予定。

総合的交通体系の整備検討

- ・ 道路ネットワークの整備について引き続き見通しの点検を行い、整備促進に向け検討・協議を行う。また、公共輸送システムの充実としては、京阪奈新線開業時に合わせたバス路線網の再編整備に向け、ITS施策導入検討とも連携しつつ総合的交通体系の検討を進める。
- ・ けいはんな中央線の当面のバイパスとなる柘榴東畑線の平成16年8月開通に向け、着実に整備を推進。

4) (仮称)メディカルコンプレックス形成プロジェクト(特定プロジェクト)の取り組み

(1) (仮称)メディカルコンプレックス形成プロジェクト

平成15,16年度厚生労働科学研究費補助金に続き、平成17年度調査費の獲得を目指す。学識経験者ヒアリング及び海外事例調査より**肝臓等を中心とした「高度先進移植医療センター」**構想を策定したが、この構想具現化を加速するため、今後運営主体・支援組織等の具体化検討を進める。既存立地施設に加え、平成17年4月開設予定の同志社女子大薬学部等の中核機関との連携も一層推進する。市民参加型公開シンポジウムも継続的に開催する。